

# 成果報告書

(地域文化倶楽部創設支援事業)

株式会社Global Entertainment-JAPAN

所在地	兵庫県西宮市	設立年	1998年
運営主体	株式会社Global Entertainment-JAPAN		
事業目標	弊社が企画・運営する日本初の総合エンターテインメント教育機関「G・E-JAPANエンターテインメント・カレッジ(兵庫県西宮本校)」内に、「西宮子ども文化倶楽部(仮称)」を創設し、地域の子どもたちが「エンターテインメント教育」を通じて「自己表現力」や「コミュニケーション能力」を豊かに養うことを目標とする。		
きっかけ	演劇・ダンス・パフォーマンス等、様々なジャンルのエンターテインメントを、ジャンルの枠を乗り越えた繋がりを持ちながら、同じ教育機関で学べる環境を整えたいと考えたのがきっかけです。		
団体・組織等の連携	「G・E-JAPANエンターテインメント・カレッジ」⇄各クラス講師陣←一般社団法人日本エンターテインメント連盟がフォロー		
活動場所	兵庫県西宮市を拠点とする、日本初の総合エンターテインメント教育機関「G・E-JAPANエンターテインメント・カレッジ」		
活動概要	タップダンス・クラウン(道化師)・ジャグリング・パントマイム・ミュージカル等の様々なエンターテインメントジャンルのレッスンの他、出張ワークショップ、全国規模での学校公演・芸術鑑賞会の実施等。		

## ○本事業による成果

従来の活動の成果のみではなく、本事業を実施したことにより得られた成果について記載すること。(数値やグラフで示すものがあれば望ましい)

普段、学校での教育活動では体験することが難しいと思われるエンターテインメントジャンルを設定した。例「タップダンスクラス」「クラウン(道化師)クラス」「ミュージカルクラス」等。その点では、学校の先生の負担軽減にも繋がったかと思うと共に、専門性の高い指導を行うことが出来た。

## ○児童・生徒への指導に関する工夫

指導を行う上で独自で工夫していることについて記載すること。

子どもたちが自分自身で受講ジャンルを決められるよう、クラスの選択肢を設けた。また各クラスに専門の講師を置くことによって、子どもたちに「本物」を見せ、生の文化芸術に接する感動を体験させることが出来た。レッスンの最後に成果発表の機会を提供することによって、人前で表現し拍手を頂くことの醍醐味を体験させることが出来た。

## ○運営上の工夫

運営上、工夫している点を記載する。

・各クラスに共通する受講生もいた為、講師間で随時連携して指導方針を策定した。・時間の厳守やレッスン前後の挨拶を徹底することによって、講師から指導を受ける姿勢を学べるようにした。・他の受講生の取組に敬意を払いお互いを認め合えるような環境を整えた。これにより、エンターテインメントの答えは一つではなく様々な表現の可能性があると伝えられたと思う。

## ○継続的な運営に関する課題・展望

活動場所、指導者、活動経費、教育機関や地域等との連携等、様々な観点からの課題と展望を記載する。

・長引くコロナ禍で実施の延期や規模縮小を余儀なくされた為、今後は当初の予定通りに実施する準備をしていきたい。  
・市役所の文化芸術担当者や、教育委員会、近隣の学校の先生方、PTAとより緊密に連携した活動に拡げていきたい。  
・現在、私共のスタジオやホールでの成果発表の機会を予定しているが、今後の感染状況が改善されたら、近隣の公共施設やショッピングセンターなどとも連携して、イベント的に子どもたちの発表機会を企画出来たらと考えている。

## ○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・計画

上記の課題をどのように解決し取り組んでいくのか、方針や計画を記載する。

・学校での部活動から移行して行く大きなメリットとして、指導講師がエンターテインメントの専門家であることが挙げられる。指導の質をより向上させると共に、やはり学校の部活動では時間的に制限されやすい、各受講生へのきめの細かい指導や支援サポート体制を整えていきたい。発表の機会を随時提供出来るよう、地域コミュニティと親密に連携を取っていきたい。

※上記4点の記載の中に活動の画像を挿入してもよい。

※『地域移行(展開)を進める際のポイントチェックリスト』を参照すること。

参加者 (予定人数)	◆対象学年／小学生～中学生 ◆今後の予定人数／40名
募集方法	チラシ配布、西宮市担当部署への告知依頼、SNS発信
指導者	関西のエンターテインメント界の各ジャンルで活躍する一流の講師陣
移動手段	徒歩及び公共交通機関
活動費用	無料
スケジュール	今後の感染状況にもよるが、出来るだけ夏休みを中心に実施したい
保険加入等	今後、検討したい

※文化庁ホームページ:地域文化倶楽部(仮称)の創設に向けた検討会議 [事例集](#)を参照

掲載URL

([https://www.bunka.go.jp/shinsei\\_boshu/kobo/pdf/92801101\\_09.pdf](https://www.bunka.go.jp/shinsei_boshu/kobo/pdf/92801101_09.pdf))

※それぞれの項目に掲載しているのはあくまで例示ですので、掲載しているもの以外の観点等で自由に記載していただいて結構です。ただし、どこかの項目に学校の働き改革(教員の負担軽減)を踏まえた観点の記述を必ず入れていただきますようお願いいたします。(本事業の最大の目的であるため)

【活動の様子(写真添付)】

